

令和6年度和歌山市立今福小学校スクールプラン

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力に育成
- 道德教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 確かな学力を身につけさせてほしい。
- 明るく楽しく安心できる学校にしてほしい。
- 思いやりのあるやさしい子供に育ててほしい。
- 地域に誇りをもってほしい。

【学 校 教 育 目 標】 健康で、豊かな情操と創造的実践力 のある子供の育成

【めざす児童（生徒）像】

- ・心身共に健康な子供
- ・純粋にしておおらかな情操をもつ子供
- ・よく考え、学習に打ち込む子供
- ・広い視野から、素直に物事を判断する子供
- ・個と集団の望ましい関係を築こうとする子供

前年度の学校評価

- 子供は楽しく学校に通っている。
- 基礎学力が身につけてきている。
- 地域や家庭に学校の様子がもっとわかるように工夫してほしい。

児童（生徒）の実態

- 素直で真面目に行動できる。
- 学年を越えて仲が良い。
- 考えを書いたり、人前で話したりするような自分を表現することが苦手である。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道德・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止
- 高学年をリーダーとした仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小中連携の推進、中学校区における学校間連携の推進
- ◎地域の人材・資源活用の推進

具体的な取組

- 学習のルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- 「和歌山の授業作り基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う。
- 保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る。
- 書くことを大切に、自分の考えを持ち発言できる授業を行う。
- 読み聞かせを推進する また図書室を活用した授業に取り組む。

- 「小学道德 生きる力」「心のとびら」等を活用し、道德教育の充実を図る。
- いじめアンケートを年間3回以上実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 縦割りによるなかよし活動等の充実を図り子供同士が関わる機会をふやす。

- 体育学習において体づくり運動を充実して基礎体力の向上を図る。
- 縄跳び記録会など目標となる行事を設定することで体力づくりを行う
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ。

- 学校便り、学級通信、校長室便り、ホームページ等を通して学校の情報を定期的に発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域の方々と交流し、地域に関心をもち、地域へお愛情を育む
- 保幼小中の接続、中学校区での小中、小中の連携を推進充実させる
- 出前授業、読み聞かせ等において地域の人材活用したり、交流を深めたりする

指標

- ・各学力テストで正答率が県平均を上回る。
- ・わかる授業、子供主体に授業をしたと思う。(児童・教師90%)

- ・学校が楽しいと感じる。(児童90%)
- ・いじめ解消率。100%
- ・「小学道德 生きる力」「心のとびら」の活用。(教師100%)

- ・積極的に運動を行うように計画し実践した(教師100%)
- ・携帯電話・スマートフォンの利用時間が減少した(児童80%)

- ・学校の様子がよく伝わった。(保護者90%)
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた。(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと